

令和8年3月31日

陸前高田市議会議長 及 川 修 一 様

会派名 日本共産党陸前高田市議団
代表者職氏名 団長 藤 倉 泰 治

政務活動概要報告書

政務活動費に関する取扱要綱第6条第2項の規定により、令和7年度政務活動の状況について報告いたします。

記

1 調査研究事業

(1) 全国災害対策交流集会 2025 参加及び能登半島地震被災地調査

- ア 調査事項 能登半島地震被災地及び復旧対策の現状を調査した。
イ 日 時 令和7年11月9日(日) 午前10時～午後4時30分
ウ 場 所 金沢市・TKP 金沢新幹線口会議室B4、内灘町内の被災現場
調査内容 ① 全国集会 金沢市

能登半島地震被災者支援共同支援センター黒梅事務局長から被災地の現状及び復旧対策の課題について報告を受けた。

また、全国各地の災害対策の意見交換では、陸前高田市の状況について発表した。

② 現地調査

内灘町内で地震による液状化現象及び側方移動による被害の実態を調査。現地の被災者から説明を受けた。

2 研修事業

(1) 第30回社会福祉研究交流集会 in 能登に参加

- ア 調査事項 社会福祉研究交流集会が、能登半島地震から1年半、「尊厳ある地域での暮らしを守るために～奥能登の活動に学ぶ～」と題して開催され、全体集会及び現地視察に参加した。

イ 日 時 令和7年8月30日(土) 13時～31日(日) 17時

ウ 場 所 石川県七尾市・七尾商工会議所2階大ホール／輪島市・輪島診療所／穴水町・障がい者入所施設「石川県精育園」

- エ 調査内容 ① 全体集会 七尾商工会議所2階大ホール 8月30日

「尊厳ある暮らしをささえるために」—医師として、家族として、住民として語る複合災害—と題して、三浦友行さん(ごちゃまるクリニック院長、一般社団法人ごちゃらあと理事長)の記念講演を拝聴した。



- ② シンポジウム「震災をきっかけにみえてきた生活課題に向き合っ
て」で各シンポジストの活動を聞き交流した。
- 阿部知幸さん（フードバンク岩手副理事長／事務局長）「フードバ
ンク能登を立ち上げに奔走」
 - 滝井元之さん（教育相談室「あした塾」代表／穴水町ボランティア連
絡協議会理事）映画「能登デモクラシー」に登場
 - 河元寛泰さん（医療法人高田松原会、地域支援部部長）被災地の障害
者支援で奮闘中
- コーディネーター 丹波史紀さん（立命館大学）

③ 視察 8月31日

輪島市・輪島診療所

河崎国幸さん（輪島市役所）と上濱幸子さん（鹿島診療所事務長）
から地震直後からその後の被災者の避難生活、仮設住宅暮らし、
医療・介護の通院通所での実情と課題について報告を受けた。

輪島市内の現地視察

能登半島各地の医療や介護施設を訪問し調査を実施した。

(2) むつ湾ホタテシンポジウム

ア 研修事項 青森県陸奥湾ではホタテ大量へい死などの漁業問題が深刻化し、
今回シンポジウムに参加し、漁業者支援、漁業対策を学んだ。

イ 日時 令和7年9月13日（土）午後2時～午後4時30分

ウ 場所 青森県平内町・勤労青少年ホーム体育室

エ 研修内容

パネリストの報告

・船橋茂久平内町長

ホタテ養殖を「まさにこの町の誇り」と話し、1次産業にとどまらず水産加
工、輸送物流、観光にも影響が及ぶとし、「持続可能な養殖モデルのため
にも、国や県からの支援が欠かせません」と訴えました。

・山田嘉暢さん（青森県水産振興課栽培・資源管理グループ総括主幹）

青森県の「陸奥湾ホタテガイ総合戦略」の中身や新たな取り組みを紹介。

・小谷健二さん（青森県産業技術センター・水産総合研究所ホタテガイ振興室
副室長）この間のホタテのへい死の原因や対策について話しました。

・高橋千鶴子さん（前衆院議員）

県と水産庁への申し入れや漁業者、加工会社との懇談などの取り組みを紹
介し、気候危機対策と、漁業支援や湾を守る救済策の両面で考える重要性
を強調しました。

3 要請・陳情活動

- (1) 市長に対し、2026年度予算及び緊急物価高騰対策に関わる申し入れ書を提出し
要請活動

- ア 申し入れ事項 2026年度予算等に関する申し入れ
イ 日時 令和8年1月9日(金)午前9時～9時30分
ウ 場所 陸前高田市役所3階、市長室
エ 要請内容

(ア) 年度予算等に関する申し入れ(全122項目)

- ① 緊急の物価高騰対策、新型コロナウイルス感染防止対策について(9項目)
- ② 市民のいのちと暮らしを守るために(14項目)
- ③ 被災者支援、医療、介護の充実強化(15項目)
- ④ 教育、保育(10項目)
- ⑤ 商工業、地域経済、雇用拡大、若い世代の地元雇用(11項目)
- ⑥ 漁業、農業、林業(23項目)
- ⑦ まちづくり、防災、交流人口、再生エネルギー(10項目)
- ⑧ 市民サービス、行財政運営、職員体制(7項目)
- ⑨ 国政へ求めることについて(6項目)

(イ) 市長への国政への要望調査及び災害公営住宅自治会役員との懇談会

- ① 日時 令和8年3月2日(月)午後1時～午後4時
- ② 場所 陸前高田市コミュニティホール2階、会議室
陸前高田市役所3階、政策会議室
- ③ 要望・懇談内容

大船渡市及び陸前高田市内の災害公営住宅団地の自治会役員と小池晃参議院らと共に懇談し、国の復興期間期限で打ち切りとなる見守りや自治会活動支援の支援員配置の継続の要望を強く受けた。その後、本市の国政への要望を聞いた。復興事業の継続、災害公営住宅への支援について、期限が過ぎても継続をとの要望や、高齢化もあり、自治会活動への支援員の配置継続の要望を受けた。

④ 参加者

小池晃参議院議員、岩渕友参議院議員、齋藤信県議、高田一郎県議、藤倉泰治、大坪涼子、伊勢純

4 広報事業

(1) 議会報告の広報紙の発行

- ① 内容 「日本共産党市議団ニュース」を発行し、令和8年第1回定例会における3議員の活動や、2026年度予算等に関する申し入れ活動などを掲載した。
- ② 発行回数 発行1回、令和8年3月末に発行し一般新聞折り込み及び市内各戸配布により約8千枚を配布した。